



11月30日の学習発表会・親子防災訓練には、体育館が満席になるほど、たくさんの方にご来場いただきました。ありがとうございました。普段から多くの方に見守られている子どもたちですが、この日は、その方々を目の前にお迎えできたことで、本当にたくさんの目で自分たちを見守ってくれていること、そして、大切に思われていることを肌で感じられました。

## 学習発表会 幕は下り、また幕は上がる

この日の演目で、唯一全校生で創り上げた全校合唱。5、6年が副旋律、1～4年生が主旋律を受け持ちました。どの子もいい表情です。そして、観客席からは、たくさんのスマホが子どもたちに向けられました。アイドルの舞台のようですが、実際、子どもたちは、お家の方にとってのアイドルなのでしょう。



【全校合唱「もみじ」】

いい演技は、自ずと観客を魅了します。特に、素直な1年生の反応は、演技の魅力を測る試金石だと思っています。予行でも本番でも、1年生は上級生の演技にひきつけられていました。

2年生の発表を見ながら、玄関の書道パフォーマンスの作品を思い浮かべていました。書写の作品に大きく名前を書ける。自分の名前を堂々と言える。「えっちゃん」が子どもたち自身であればいいと思います。

3年生は、きっとこの半年あまりの学習を振り返りながら「サーカスのライオン」を演じていたことでしょう。男の子を救う場面では消防署の見学を。リコーダー演奏では1学期に初めて音を出した時のことを。

4年生の発表は、「笑いあり、涙あり」。4年生のパワーで見る人を元気にし、心を開放させる。そこに「ふるさとの色」の美しい調べがしみこんでくる。4年生には「人を感動させる力」もあります。

5年生は、長縄に挑戦しました。これは予行の時に最高記録を更新していました。それで満足してもよかった。もうこれ以上は無理だとあきらめてもよかった。でも、満足せず、あきらめなかった。だから出てきた記録です。

学習発表会の前日、6年生から「最後は緞帳が下りてくるところを、手を振りながら終わりたい」という要望がありました。要望はかなえられ、6年生の「バイバイ」とともに素晴らしい学習発表会の幕は下りました。

そして今日、また幕が上がります、新しい1日の始まりです。



【フィナーレ】

## 安全と分かっている不安。だから……

親子防災訓練の一つ、煙道体験では、煙の充満したテントに入り、出口まで通り抜ける体験をしました。しかし、テントの中で方向を見失ったのでしょうか。なかなか出口から出てこない子どももいました。外で待ちながら、「一体、テントの中でどうなっているんだろう。大丈夫だろうか。」と不安になりました。

安全で、いつでも助けに行ける状況でもこうです。もし、震災等で連絡が取れない状況に陥ると、その不安はいかばかりのものでしょう。ですから、やはり常日頃から親子で防災について話し合い、避難経路や連絡先などを確認しておくことが大切です。



【煙道体験】